

第117回紫紺倶楽部

日本の経営者の海外体験～生活・マナー・語学～

明治維新後、本格的に欧米諸国に学び先進国の優れた面を吸収することにつとめた先人たちは、さまざまな取り組みによって道を開き、日本は試行錯誤の末に30年余りで先進国の一員と認められるようになりました。

今回は、由井常彦先生をゲストにお迎えして、明治初期から戦後の復興・高度成長の時代まで、経営者（企業人）はどのように外国と取り組んだのかをお話いただきます。

先生が13回にわたって紫紺倶楽部でお話いただいた内容は、PHP研究所の雑誌に連載、昨年10月に「講話 歴史が語る『日本の経営』 その進化と試練」として出版されました。

今回は、

- ① 明治末の三井一族の欧米視察
- ② 戦前の日本実業団（団長・團琢磨）
- ③ 松下幸之助のアメリカ視察
- ④ 戦後の生産性本部による海外視察団（石坂泰三のリーダーシップ）

を中心にお話いただきます。

混迷する現代の経済情勢の中、先人たちが学び実践した事例から学びとれる事柄は多く、「歴史に学ぶ」姿勢が改めて見直されています。

多年のご研究に裏付けられた由井先生の講話を、ぜひ、お聴きください。

ゲストのプロフィール

《 敬称略 》

由井 常彦（ゆい・つねひこ）

1931年長野県生まれ。1955年東京大学経済学部卒業。1960年同大学院修了。経済学博士。明治大学経営学部教授を経て、財団法人三井文庫常務理事・文庫長。

会 場	明治大学（駿河台キャンパス）リバティタワー 1012教室
日 時	4月17日（日） 13時30分開場 14時00分開演
スピーカー	嶋丈太郎（紫紺倶楽部主催者）
入 場 料	2,000円（税込）
主 催	オリオンプロモーション
協 賛	カゴメ株式会社・あみ印食品工業株式会社

オリオンプロモーション
代表 嶋 丈太郎（星名 登）

お問い合わせは 携帯090-1702-5076

☎&FAX 03-3689-9732

紫紺倶楽部まで